

指定校番号	29051	学級活動		生徒会活動		学校行事	○	中学校用
-------	-------	------	--	-------	--	------	---	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立高西中学校	校長	西田 俊徳	生徒指導主事	土生 和之
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『自主的な活動（体育大会）』
取組のねらい 『キーワード：生徒が主役』	<p>(1) 生徒の自主性を伸ばし、行事を自分たちの力でつくっていく。</p> <p>(2) リーダーを育成し、自己決定の場を与え、自己存在感を高める。</p>
身に付させたい資質・能力	<p>(1) 課題を発見し、解決する力</p> <p>(2) リーダーとして、みんなを引っ張り、まとめていく力</p>
取組の具体的内容 『キーワード：ルールを引く』	<p>(1) 教員の打ち合わせ、取組を共有し、ベクトルをそろえる。 学年対抗であった体育大会を縦割りにし、その意義を共有するところから。</p> <p>(2) 担当教員と担当生徒（リーダー）との打ち合わせをていねいにする。</p> <p>(3) 毎日反省会をもって、次の改善点や練習内容を確認する。</p>
取組の課題・創意工夫 『キーワード：待つ・まかせる・褒める』	<p>(1) 不慣れなリーダーもいるが、教員がすぐに出ないようにする。『待つ』</p> <p>(2) 教員に頼らないよう、自分たちでやろうとする姿勢をつくる。『まかせる』</p> <p>(3) 頑張ったところなど、肯定的な評価をする。『褒める』</p>
取組の成果（効果） 『キーワード：育成』	<p>(1) リーダーとなった生徒が、自覚をもって指示や指導を行うようになり、自己存在感を味わうことができた。</p> <p>(2) 自分たちでやっているという気持ちで、練習が明るく楽しそうであった。共感的な人間関係ができてきた。</p> <p>(3) 教員にも余裕ができ、褒める材料が多く見えてくるようになった。</p>
 	

今後の展開『キーワード：繋げる』

- (1) こういった自主的な活動が、他の行事や活動へ生かされるようにしていく。
- (2) リーダーを中心とした動きをつくり、自己決定の場を増やし、自己存在感を高めていく。
- (3) 他の活動のなかにも、縦割りを取り入れていき、異年齢の交流の場をつくっていく。



他校へのアドバイス『キーワード：準備』

- (1) 行事へ向けての教員の話し合いや打ち合わせ、その都度練習後に生徒と反省や打ち合わせが大切。こういった『準備』がなくして、目標とする活動にはならない。
- (2) 1度形ができれば、下級生は先輩を見て学び、受け継がれていき、進化する。